



会報

峯

## 新年度にあたり

平成24年度を迎えて、石川支部定期総会を4月21日に白山麓一里野温泉「ケリエ山荘」で開催しました。ケリエ山荘を利用したのは2001年9月に石川支部が担当した「第18回全国支部懇談会」の打ち上げを兼ねた11月の山祭り以来、実に11年ぶりでした。

日本山岳会の「公益法人化」を踏まえて、総会では本部の定款変更に伴う支部規約の制定や、今後の支部会計処理、支部公益事業実施予定等を審議し、無事可決されました。

日本山岳会も行政改革の渦にのみこまれ「一般」か「公益」か、紆余曲折を経た公益社団法人化の課題も、4月1日をもって「公益社団法人日本山岳会」と名称変更し、新たな登山口に立ったわけです。

私同様、何故山を敬愛する仲間の日本山岳会が国策の渦に巻き込まれなければならないのか・・・という純粋な思いの方も未だいると、正直考えます。しかし日本山岳会は昭和16年に社団法人として認定されて以来、今日まで31の支部を包括して続けられてきた活動の多くは、公益性をもって実施されてきたわけであり、今までと180度変わった事をしなければならないということではありません。

**石川支部の公益活動**も、登山という山岳文化活動を通して、会員・会友が楽しく社会に貢献出来ることは何だろう・・・という思いから【ふるさと登山道整備】を始めたわけです。

今年も6月2日に「浅犀みくまりの道」の整備に12名が汗を流してくれました。今回はチェーンソーと手刈りでの作業でしたが、そろそろ草刈り機を入れ登山道脇の笹や草を刈る時期に来ていると西嶋実行委員長とも相談しています。このあと、秋には「杉峠道」「小原峠道」そして大庭会員が新たに開いた「不惑新道・火燈古道」と続きます。自然観察会も今年は安田会員の地元、能美の山で実施する予定です。会員・会友の皆様が楽

平成24年度会報第1号

平成24年6月25日

(社)日本山岳会石川支部

支部長 中川 博人

しみながらご協力頂けるよう、宜しくお願いします。

**安全管理の視点から**、昨年度参加実績者と今後協力して頂く会員・会友には、7月1日より1年契約で【森林ボランティア保険】及び【ボランティア保険】に加入しました。前者はチェーンソー・草刈機等の動力を使用する方に限定、後者は手刈り（動力を使用しない）の方が対象です。（※別途参照）。日本山岳会の団体傷害保険に入っていれば良いのでは？という意見がありましたが、この保険で保障対象となるのは、A1・C1・E1の入院保障特約、通院保障特約に加入している方のみで、契約の範囲内での保障、他は保障されないことを確認しました。

**会員の高齢化の現実**は、JACだけでなく各山岳団体が抱えている悩みです。石川支部は現在、会員47名、会友14名、計61名が在籍しております。JACの中では会員数の少ない支部になります。支部の運営には実行力と資金力のバランスが必要ですが、本部からの年間助成金は公益事業に60%を当てなければなりません。残る40%の助成金と支部会費で年間事業が実施されています。6月16日（土）に本部で開催された支部長会議において、尾上会長からは会員を増加し、会の財政を強化して欲しいとの要請がありました。皆さんの友人で会員に推薦出来る方がおられたら、是非ご紹介頂ければと思います。又、山行も公益事業も現在の状況は会員・会友の境界線が曖昧です。現在会友の方には、出来るだけ早く通常会員（正会員）になって頂きたいと願います。

若手では20代後半の会員と、同じく2名の若手会友が積極的な登山をしています。今年も劔岳の夏山合宿を計画しました。こうした山行を通して、若手が山に感動し技術を身につけ、岩登りだけでなく様々な状況に対応出来るようになり、そして仲間を増やしていく事を、願って

やみません。そのサポートを今積極的にやっている処です。是も又、会員の方々のご理解とお力を借りなければ出来る事では有りません。

**会員相互のコミュニケーション**が不足している面も考えなければならないと思います。会員が何時でも気楽に集まれる場所が有ればもっと色んな話題が生まれ、登山や活動の意見交換が出来ると思いますし、アイデアも出るでしょう。今後の課題といえますが、他の支部では月例会を設けている処も有ります。現状は前川事務局長がメール配信や連絡を的確にやってくれていますがそれでも返信連絡のない方等、会員としてのモラルの欠如か、インターネット環境の普及が逆に相互の交流不足になっているのか悩むところです。結局は相手の声を聞き、顔を見て話す・これ以上のコミュニケーションは無いのでしょうか。

会員が自分を表現する場の一つが**会報の活用**です。これまでは非公開というわけでは無いのですが支部内でのみ発行していた会報でした。しかし今般インターネット委員会のご協力を頂き、日本山岳会ホームページの、「石川支部」に【**支部報アーカイブ**】を設け、テスト版で平成23年度会報第4号を掲載しました。今後も会報を随時ア

ップロードしていくつもりです。皆様には個人山行の回想文や歴史、研究文等ぜひ発表して頂きたいと思います。それが自分をアピールする場にもなりますし、石川支部の記録を後世に残す我々の責任でも有ると思うのです。また本部のホームページにリンクした石川支部のホームページも勉強していきたくと思っています。是にも若手の協力が必要です。力を貸して下さい。

会報と言えば、全国各支部から私宛に時々支部報が郵送されてきます。私だけが読んでも会員の方に見てもらわなければ、何処の支部がどのような活動をしているのか会員の皆さんが知る由もない訳で、全てとはいきませんが今後出来るだけスキヤニングをし、PDFを配信しようと考えております。少しでも全国支部の動きを知って頂き、興味を持って頂ければ、JACは全国規模で活動している山岳会なのだとすることを理解し、全国支部懇談会や年次晚餐会にも参加される方が増える要因になればと希望します。

ご意見は真摯に受け止め、今後の石川支部の活動や、会の在り方に皆で生かしていきたいと考えております。今後ともご指導、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。（支部長 中川 博人）

# 山行・行事報告

## 1. 春山雪上訓練



- ・ 日程 平成24年4月14日（土）
- ・ 場所 医王山（939.1m）山腹
- ・ 参加者 岡本明男（CL） 中川博人（SL）  
八十島仁（会員3名）  
櫻井茂紀 西川輝（会友2名）

この雪上訓練、個人的には2月ごろ多くの参加者を見込みながらも実現できなかった西山、取立山の雪上訓練の、いわゆるリベンジの意味もありました。顔ぶれは中川さん、岡本さん、西川さん、桜井さん、八十嶋の5名。言うまでもなく中川さん、岡本さんが先生役で、ほか20代の3名が訓練生です。「未踏」に終わった雪上訓練とメンバーは違いますが、ぜひ参加したいと思っていた訓練でした。

この日の目標は

- ・ ピッケルによる滑落制動停止訓練
- ・ 雪上でのロープワーク

などが主でしたが、時期的に雪が解けかけ、雪質はあまり訓練には向いていませんでした。

車を止めた医王の里キャンプ場あたりでひざ

下まで積雪。前山を經由し白禿山にいたる尾根を登っていくと、積雪はだんだんと深くなり、山頂付近には1.5メートルほどの雪がありました。

白禿山から訓練開始です。互いの体をロープでつなぐコンテナスで歩行しました。

が、この時点で八十嶋は肝心のハーネスを忘れてきていました。訓練とはいえ、お前、何しに来たんやと罵倒されても仕方ないところではありますが、逆にハーネスなしで体を支持する方法を教えていただいたので結果的には勉強になりました・・・もちろん、本番時には必ず気をつけます・・・。(最終的には岡本さんにお借りしました。ありがとうございました。)

白禿山の稜線北面、傾斜角度がややきついで、稜線上の木にスリングをまいて支点を確保し、懸垂下降の訓練を行いました。

まずはハーネスに結索するエイトノットの練習です。これが一瞬でできないと話にならないので、弱卒3名は中川さん、岡本さんにみっちり結び方を指導いただきました。雪山の場合、手袋をつけたままでの作業ということで難易度はさらに高いのですが、訓練を経てだんだん慣れたと思います。

昨年6月にも倉ヶ岳の岩場で、本当に垂直の壁を降りる懸垂下降をしていたので、手順はそれほど難しくありませんでしたが、雪が積もっているとまた違う困難さがありました。降りるとき足をとられることもつらいのですが、雪の水分を吸ったロープが重いこと、滑ること。もっと気温が低く、ロープが凍結していればかなり危険だという感触を得ました。

同じ斜面でピッケルを使った滑落制動停止を行いました。斜面を滑落したと想定して滑り降りながら、ピッケルを雪面に突きたて支点にしてブレーキをかけます。これは滑り台みたいで楽しいです。もちろん本当に滑落した場合は、まったく楽しいという感情はわからないと思いますが、この日は西川、桜井両氏とともに歓声を上げながらの訓練となりました。

滑り台状態で滑ったり、頭を下にして滑ったり、腹ばいで滑ったり、さまざまな姿勢からピッケルを支点に姿勢を制御しました。コツとして教えられたのが、ピッケルの柄を、脇をしめて体に近い場所で保持し、体重をこめてピックを雪面に打ち込むことです。さもなければ衝撃に負けてピッケ

ルが手から飛んでいってしまうということでした。

さらに、雪上を歩く際のピッケルの持ち方、雪の急斜面のトラバースの仕方などをレクチャーしていただき、ピッケルをより手になじませることができました。惜しむらくは、雪質がやわらかく、ピッケルが簡単に刺さりすぎました。つぎはもっとカチカチにクラストした雪面で練習したいものです。

最後に、ロープを使って支点確保しながら、急斜面を登っていく方法を練習しました。中川さん・桜井さん組と、岡本さん・西川さん・八十嶋組に分かれ、ロープで体を結び、スタカットで進んでいきました。

雪面にピッケルを立てたり、木にスリングを巻いてカラビナをつけ、半マスト結びで結索したりして、自己確保にしました。先頭が歩く場合は後続が確保し、後続が登るときには先頭が確保しました。

登るときは他のメンバーが確保してくれているのでそれほど難しくありませんでしたが、確保している際のロープの引き方が難しかったです。相手の歩調に合わせてロープを引くタイミングや、相手が滑落したとき衝撃に負けないように確保する方法など・・・。ロープの扱いに四苦八苦している自分では、もっと練習しないとパートナーの命は無いな、と切実に感じました。

訓練を終えて、まだまだ若輩者たちは落第点ではありますが、山行の幅を広げるにはやはりこうした実地訓練を繰り返すしかないと思いました。ロープワークや雪上歩行の技術が、少しずつではありますが確実に自分たちの血肉とすることができた、意義ある訓練でした。

これからも訓練、実際の山行を積み重ねて、山行の幅を広げ、最終的には自分から皆さんをいろいろな面白い山にお誘いできるような、技術と経験をつんだ登山者になりたいと思います。当面の目標は冬季・春季の白山です！今の技術ではまだまだかもしれませんが、夢だけは持っておきたいと思いつつ、報告を終えたいと思います。

(文責：八十嶋 仁、写真中川 博人)



## 2. 平成24年度支部定期総会開催

- ・日程 平成24年4月21日(土)～22日(日)
- ・場所 一里野温泉 「ケリエ山荘」
- ・出席者 安田二三男 井村喜久夫 大幡裕 岡本明男 織田伸治 木原清 澤村真治 関本邦晴  
高田和彦 津田文夫 内藤千代 中川博人 長清幸子 西嶋鍊太郎 西田茂 埴崎滋  
廣瀬幸寛 藤江以住 前川陽 前田健進 村上哲 (会員21名)

平成24年度支部定期総会は、一里野温泉「ケリエ山荘」にて会員21名、委任状18名で開催された。冒頭、議長に選出された中川支部長から、昨年度の活動に対する謝意と、本年度から新たにスタートする、公益社団法人としての支部運営についての説明があった。その後、一連の議案審議に入ったが、本年度の特徴としては、公益社団法人化に伴う「支部規約の改正」と「支部旅費・慶弔規程の改定」があるが、双方とも原案どおり可決・成立した。

新年度の事業計画(案)では、新たに公益事業と共益事業に分けられ提示されたが、これも原案どおり可決・成立した。その他、役員

改選として、山行担当では、関本邦晴会員が委員長に八十嶋仁会員が山行委員に推挙され、大庭保夫会員は山行委員長を退任し、ふるさと登山道整備事業実行委員に、北栄一郎会員が、同実行委員渉外担当に推挙された。総会のあとは、懇親会に入ったが、「ケリエ山荘」は、2001年11月の山祭り以来の懐かしさで、瀟洒な山小屋情緒あふれる食堂では、おいしいフランス料理とワインで夜の更けるのも忘れ、山談義で盛り上がりました。

(文・前川陽)

## 3. 日本真中5支部合同懇親山行(福井支部主催) 泰澄祭と霊峰「越知山」おちさん

- ・日程 平成24年5月26日(土)～27日(日)
- ・場所 「泰澄の杜温泉」・越知山
- ・参加者 井村喜久夫 津田文夫 中川博人 前田健進 村上哲 (会員5名)

第12回目を迎えた日本真中5支部合同懇親山行、今年は福井支部の主管で「泰澄祭」に参加し、翌日若き泰澄が修行した霊峰「越知山」を縦走した。

26日(土)、参加者全員井村会員の会社に集合して、一路北陸道経由で福井の越前町へ向かった。到着は3時頃になり、泰澄ミニシンプの講演会には間に合わなかった。「泰澄の杜」は宿泊棟とア

ルカリ性単純温泉を備える宿泊施設で、周りを森に囲まれた静かな環境が保たれていた。村上・前田の両会員は、泰澄大師が祀られている大谷寺を参拝。

夕刻6時からの懇親会は総勢45名が参加し、宮本前福井支部長からバトンを受けた森田信人新支部長の挨拶、更に泰澄塾長や地元糸生区長の歓迎の言葉から始まり、いつもの和やかな懇親会となった。

翌日、井村会員は下山待ち合せで別れて、あとの4名は出発地の奥糸生多目的集会施設で泰澄祭の入山式に参加し、9時前には随時登山開始。歩き出しは杉の植林地で蒸し暑かったが、照葉樹林帯に入ると後は越知山まで殆ど木陰の山道で涼しく快適。地図を見ると行者道と記されていた。途中、泰澄大師が独鈷（どっこ＝法具の金剛杵）で地面を突くとそこから水がわき出たという伝説の清水がある。そこを過ぎると次第にブナの原生林になり、深い緑が美しい。長い尾根道を上り詰めると越知神社御本社が現れる。神主が参拝者1人1人に健康・家内安全を祈願しお祓いして頂き、有難い気持ちになった。ここで昼食となり、

「泰澄祭」の主催者から豚汁が振る舞われた。越知神社社務所の周囲は、樹齢何百年の大きなブナに囲まれている。山頂は更に北方に10分ほど登る。その間に、太師堂、千体地藏、神宝庫と史跡が並ぶ。頂上には奥の院があり、その脇に三等三角点「越知山」612.8mの御影石があった。

下山は花立峠へ向けて稜線をアップダウンする。途中宮本前支部長の設計した展望台で記念撮影。往路と違い日差しが暑い。春霞で武生の日野山さえ霞んでいる。花立峠で一旦車道に出るが、更に「悠久ロマンの杜」までひたすら歩き、午後3時30分到着。

越知山・たかが612mと侮るなかれ。約9km、5時間のアップダウンは充分修行のコースだと感じた。しかもこの標高であの立派なブナの原生林がどうして出来たのだろうか。白山のブナ林を連想させるが、越知神社のあたりは「室堂」と呼ばれ、南側には「別山神社」、神社脇には「殿池」と、白山を模写した様な呼称である。この山で泰澄は修行を積み、白山を開山した言い伝えに思いを馳せると、なにやらロマンチックな世界に入りそうである。（文責：中川 博人）



2012.5.27 JAC 日本真中五支部合同山行 越知山展望台

#### 4. (公) ふるさと登山道整備兼新緑山行

##### 【浅犀みくまりの道】 ふるさと登山道整備を実施

- ・ 日程 平成24年6月2日(土)
- ・ 場所 順尾山～奥高尾山(浅犀みくまりの道)
- ・ 参加者(12名) (CL)西嶋鍊太郎 中川博人 織田伸治 安田二三男 澤村真治 埴崎滋 藤江以住 前田健進 内藤千代(会員9名) 西川輝(会友1名) 中野厚子 神田裕子(一般2名)

今年度最初の公益事業は、「浅犀みくまりの道」の整備から始まった。午前7時浅ノ川温泉湯楽の駐車場に集合。順尾山駐車場から午前中で山を下りる織田・内藤は順尾山側へ、西嶋C L以下10名は県森林公社作業道を一旦河内谷林道まで下り、みくまりの道作業道を400m登り返す。

山は新緑の萌葱色から次第に色を濃くし、流れる風と木陰が日差しから私達を守ってくれる。奥高尾山には12時過ぎに到着。昼食後、登山道を塞ぐ倒木や大きな枝を安田会員がチェーンソーで伐採、後から続く会員が撤去、傷んだ標識の補修や足元に伸びる草や枝を刈りながら順尾山・大倉山の分岐に向けて進む。途中、西谷山と心野谷山の間で比較的新しい熊の糞を発見した。

昨年はかなり多くの登山者がこのコースを利用し、全体的に登山道そのものはしっかりしたトレースとなっており、途中急な登下降部には新しい固定ロープが張られていた。

但し、以前刈り払った登山道脇の笹や草木が部分的に伸びており、年内には時期を見て草刈り機を入れる必要が有る。また設置した標識も傷んでいる物も有った。次年度には付け替えが必要かもしれない。



## 5. (公) 第21回「石川県安全登山の集い」

- ・日程 平成24年6月9日(土)～10(日)
- ・場所 白峰温泉「御前荘」コテージ 白抜山～鷲走ヶ岳
- ・参加者 石森長博 織田伸治 高田和彦 藤江以住 前川陽 前田健進 (会員6名)

石川県山岳協会主催の「安全登山の集い」が実施され、加盟団体として6名が支援参加した。但し、高田会員は県山協の副会長として、石

参加者の皆さん、お疲れさまでした。

(文・写真：中川博人)

浅犀みくまりの道  
登山道 すっきり

日本山岳会石川支部の会員12人は2日、湯涌温泉の南方に位置する奥高尾山(標高841m)と順尾山(同883m)を結ぶ登山道「浅犀みくまりの道」で、草刈りなどの奉仕作業を行った。

この登山道はかつて廃道状態となっていたが、2010年に同支部が公益事業の一環として復活させた。約3kmのコースが浅野川と犀川の分水嶺をたどることから、「分水嶺たどる 山岳会支部が草刈り水」の古語である「みくまり」と命名した。

参加者は登山道の倒木をよけたり、樹木の切り株から生えてきた若芽を刈り払ったりして、約10時間かけて登山道を整備した。

傷んだ頂上標識を付け直す会員「浅犀みくまりの道」

6月4日北国新聞に掲載

森会員は同理事長として参加した。

本行事は、本年9月21日から23日まで、日本山岳協会主催、石川県山岳協会実施の白山で

行なわれる「中・高年安全登山指導者講習会」のリハーサルとしてプレ実施された。

9日は、16時半から18時まで白山国立公園センターの大会議室で、白山野々市広域消防本部白峰分署職員3名から、各種応急処置法についての研修訓練を受けた。

夜は山協加盟の13の山岳会メンバーと懇親を深めた。

翌10日は入梅特有の霧雨模様の日であったが、募集で参加した登山愛好者約50名を各山岳会で分担してサポートし、白抜山(891m)経由、鷲走ヶ岳(1,096.6m)を登頂し、全員無事下山した。(JAC石川は「夕日寺里山の会」メンバー6名をサポート)

今回参加した山岳会は以下のとおりで、その人数は約80名である。

JAC石川支部、野々市山岳会、北陸電力、くろゆりクラブ、北鉄山岳会、鶴来山岳会、石川山岳会、加賀山岳会、金沢山友会、コマツ栗津工場、楽しい山の会、松任山岳会、北竜岳想会 (以上13団体) (文・写真：前川陽)



## 今後の行事予定

参加お申込みは、各担当者もしくは事務局（前川 E-mail:[maekawayo@gmail.com](mailto:maekawayo@gmail.com) TEL 080-1952-7298）までお願いします。

### 1. 親睦ビアパーティ

会員・会友は勿論、日頃ご無沙汰の先輩会員の方々とも久しぶりに一献交えたく企画しました。場所も交通の便の良い金沢駅前ですので、是非お出かけ下さい。

- (1) 担当者 前川 陽 TEL080-1952-7298
- (2) 日程 平成24年7月21日(土) 17時半～19時
- (3) 場所・会費 ANAクラウンプラザホテル金沢 ビアテラス 4F 屋上ガーデン  
\*旧金沢全日空ホテル(金沢駅東口) 会費：¥5,000
- (4) 集合場所 17時20分まで1階ロビーでお待ちしますが、それ以降は直接会場へお越しください。
- (5) 申込・〆切 7月18日(水) 担当者(前川)までメールもしくは電話にて。
- (6) その他  
・会員、会友以外の方も大歓迎ですので、奮ってご参加ください。  
・会場は屋根付ですので、雨天時でも大丈夫です。

### 2. 夏山合宿「劔岳」

昨年天候不良で不完全燃焼に終わった劔岳合宿でしたが、下記日程でリベンジします。ご承知の通り劔岳は、「岩と雪の殿堂」と呼ばれ、体力・精神力共に要求される山です。バリエーションコースA班と一般コースB班を考えております。

- 1 日程 平成24年7月26日(木)～29日(日)

**A班**(天候判断で第1・第2コースを決定する。)

7月26日(木) 金大角間キャンパス駐車場集合(AM5:30-5:40 発) > 北陸道(小矢部Pで最終合流) > 室堂 > 劔沢テント場(BC設営)

7月27日(金) 第1コース=劔沢 BC>長治郎谷>五六のCOL>八峰上半>三ノ窓でビバーク

第2コース=劔沢 BC>源治郎尾根>本峰>劔御前>劔沢 BC

7月28日(土) 第1コース三ノ窓 BP>小窓尾根>池ノ平>仙人尾根>真砂沢>劔沢 BC

第2コース劔沢 BC>八峰上半>長治郎雪渓下降>劔沢 BC

7月29日(日) 劔沢 BC>劔御前小舎>雷鳥沢>室堂>帰宅

### B班 (自由参加)

7月26日(木) A班と同じ

以後、劔沢をベースに、劔岳一般コースや奥大日岳へ自己責任で登山する。27日はBC泊はB班のみ。

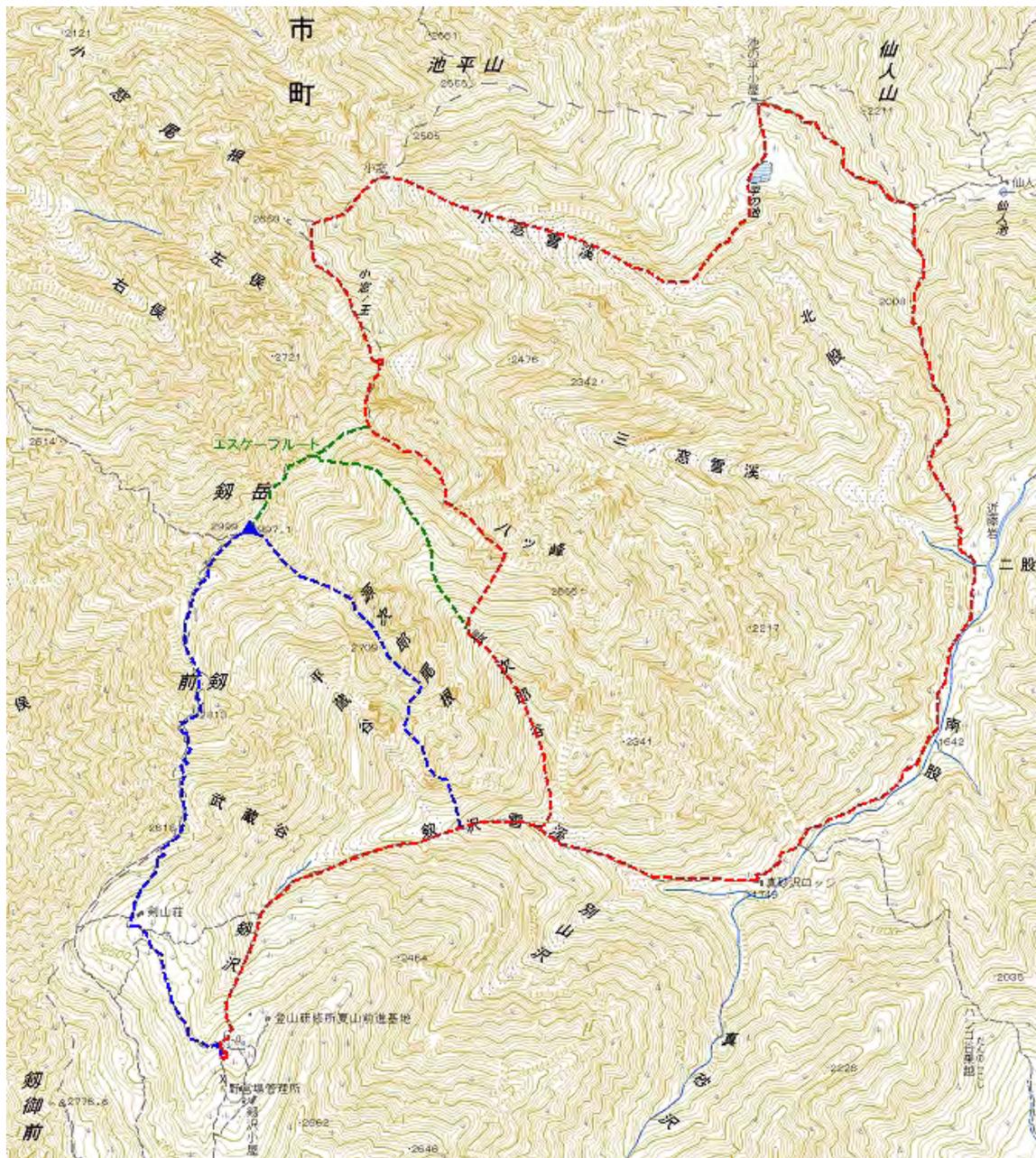
7月29日(日) A班と同じ (先に下山もOK)

## 2 CL-岡本 明男、SL-中川 博人

参加希望者は7月第1土曜日(7日)までにお申し込み下さい。

メンバー確定後、詳細打合せをします。

申込み受付: 岡本明男 090-2126-9423



### 3. (公) ふるさと登山道整備(杉峠道・小原峠道)

(1) 担当者 織田 伸治 090-6273-4772

(2) 日程、実施場所および集合場所

・9月8日(土) 三ッ谷集落～杉峠

⇒集合場所・時間 白峰総湯駐車場(総湯とお寺真成寺の間にあります) 午前7時30分  
または杉峠登山口駐車場 午前8時

・9月9日(日) 三ッ谷西俣谷奥～小原峠

⇒集合場所・時間 白峰総湯駐車場(総湯とお寺真成寺の間にあります) 午前7時30分  
または三ッ谷西又小原峠登山口駐車場 午前8時10分

(3) 各自で用意するもの

- ・日帰り山行装備
- ・鉋、鎌、草刈機
- ・8日の昼食、9日の昼食

(4) 申込み〆切 9月1日(土)

(5) 以下は、織田さんからの提案です。具体的には二日間を有効活用するため白峰での宿泊を企画していただきました。懇親会も含まれていますので、希望者は是非ご参加下さい。

<企画案>

9月8日(土)は、白峰で宿泊します。

場所は総湯の近くの私(織田)の親戚の民家です。

宿泊希望の方は、1泊2食で男子4000円女子3000円の予定です。

鮎か岩魚の塩焼きを用意したいと思っています。

ふとんもあります。寝袋を持参してください。

9月8日(土) 杉峠登山道整備

登山道整備開始 午前8時10分

下山 昼食後刈り祓いの状況を見て、適宜下山

ご苦労さん会 午後6時予定 杉峠のみの参加の方でも宿泊OKです。

雨天でも行いますので、それなりの用意をして来て下さい。

9月9日(日) 小原峠登山道整備

登山道整備開始 午前8時20分

下山 昼食後

登山道整備は、早く終わる予定なので、赤兎か大長に希望者は登ろうと思っています。

天気が悪い場合は、登山道整備は中止します。

9月9日(日) 小原峠のみ参加の方でも、前日の白峰宿泊OKです。

### 4. (公) 「中高年安全登山指導者講習会」(東部地区) スタッフ支援

日本山岳協会主催で石川県山岳協会が御前荘と白山で実施する登山指導者講習会です。

日程は平成24年9月21日(金)～23日(日)の3日間です。

スタッフ支援としては、本年6月9日(土)～10日(日)に鷲走ヶ岳で実施したプレ登山指導者講習会へ参加された会員を予定していますが、それ以外にも募集しますので希望される方は7月31日までに事務局(前川)までご連絡下さい。(実施内容参照：H23年度会報「峰」第4号)

## 5. 第28回全国支部懇談会（千葉支部）

1. 日程 平成24年10月20日（土）～21日（日）
  2. 場所 国民宿舎サンライズ九十九里
  3. 会費 17,000円
  4. 申込〆切 平成24年7月25日（水）申込みは支部で取りまとめます。
  5. 申込先 事務局（前川）までメールもしくは電話（080-1952-7298）
- ※後掲の案内書参照

## 6. 岐阜支部創立40周年記念式典

1. 日程 平成24年11月17日（土）～18日（日）
  2. 場所 式典 講演会 レセプション ⇒ ホテル「十八桜」岐阜市湊町10 TEL058-265-1551  
記念山行 ⇒ 金華山（所要時間約3H）
- ※後掲の案内書参照

# おしらせ

## 1. 火燈古道の復活で不惑新道から周遊コースとなりました。

大庭保夫会員と奥様の大庭太洋子会友の献身的なご努力の結果、この度、富士写ヶ岳と火燈山が周回可能なルートが完成し、大庭さんから以下のとおり、ご案内がありました。

**新ルート紹介** ～～変化に富んだシャクナゲ回廊（不惑新道+火燈古道）～～  
（コースタイム標準4時間半～5時間）

中央広場駐車場…→0:05←…大内登山口…→1:30/1:00←…富士写ヶ岳…→1:30/1:45←…火燈山…→1:00/1:20←…\* 関電鉄塔…→0:20/0:25←…大内峠…→0:05/0:10←中央広場駐車場

\* 関電鉄塔…巡視路…林道…駐車場の短縮路があり（→0:20/0:25←）

\*

富士写ヶ岳から火燈山間の不惑新道を縦走すると、往路を戻るか下山口に車を回さなければならなかったが、火燈古道の整備復活によって周回が容易になった。

随所にシャクナゲの群生を手軽に見ることができ、春、秋のブナ林が美しい。白山、加越国境の山々や平野部の展望もよく、初夏の頃でも緑陰の下、谷筋から吹き上げる風が涼しい稜線、アップダウンや多少の急登もあって変化に富んだコースである。

火燈古道は、藩政時代国境を守る大聖寺藩奥山

廻り道であり、豊原寺の修験者の道でもあり、白山信仰とも関わりがあった。ちなみに富士写ヶ岳は、不動、地藏、釈迦三尊を祭る「不地釈岳」が山名の元になったという。火燈山は、一向宗徒の烽火、または豊原寺の修験者の護摩に由来するといわれる。ルート中の910.6mのピーク、小倉谷山の三角点名は「伏拝」。

国道364号線が付け替えられトンネルに変わり、大内集落跡は、縁（ゆかり）のある人たちによって管理される公園があり、駐車場、広場や、トイレもある。（文責：大庭 保夫）



## 2.新会員の会員番号と会友の退会について(H24.4)

- ・新会員番号 西田 茂 会員 (会員番号:15023)
- ・会友の退会 藤田 洋子 会友

## 3.会員名簿の訂正について

- ・村上 哲会員の名前のルビ訂正 サトルとありますがトオルの間違いです。  
お詫びして、訂正いたします。
- ・前田健進会員の所属山岳会に金沢山岳会とありますが、退会のため削除して下さい。
- ・埴崎 滋会員のメールアドレス追加をお願いします。 [s-hani@tc4.so-net.ne.jp](mailto:s-hani@tc4.so-net.ne.jp)

## 4.その他

- ・日本山岳会のホームページが刷新され石川支部報も掲載されていますので、是非ご覧下さい。
- ・石川支部年間行事は、先の総会資料に掲載されていますので、各位カレンダーに転記され参加予定を立てて頂きますよう、お願い致します。

## 公益事業参加者の保険加入説明書

### ボランティア保険の内容(動力を使用しない方):タイプA

#### 4. ご契約タイプと保険料 (団体・グループごとにご加入タイプを選択していただきます。)

ご契約タイプ		A	B	C
賠償責任保険	支払限度額 (対人・対物事故共通)	1事故につき 1億円限度(自己負担額:なし)		
	死亡・後遺障害保険金額	1,000万円	1,934万円	3,455万円
傷害保険	入院保険金日額	5,000円	10,000円	10,000円
	通院保険金日額	3,000円	5,000円	5,000円
1名あたりの年間保険料		<b>400円</b>	<b>700円</b>	<b>900円</b>

\* 記名式ですので、ご加入の際には、ご氏名、性別、生年月日、年齢が必要です。

#### 5. 保険期間 平成24年7月1日午後4時から平成25年7月1日午後4時までの1年間

### 森林ボランティア保険の内容(動力を使用する方):タイプA

保険期間: 平成24年7月1日午前0時から平成25年6月30日午後12時まで  
(賠償責任保険は平成24年7月1日午後4時から平成25年7月1日午後4時まで)

補償内容		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	
賠償責任	支払限度額(対人賠償)	1名 1億円限度 / 1事故 3億円限度(自己負担額:なし)			
	支払限度額(対物賠償)	1事故 500万円限度(自己負担額:なし)			
	支払限度額(保管物賠償)	1事故 300万円限度(自己負担額:5,000円)			
傷害 (1名あたり)	死亡・後遺障害保険金額	1,000万円	2,000万円	3,000万円	
	入院保険金日額 (1日につき)	5,000円	10,000円	10,000円	
	通院保険金日額 (1日につき)	3,000円	5,000円	5,000円	
1名あたりの保険料	日帰り	動力を使用せず、 20名以上の場合	71円	119円	150円
		20名未満の場合または 動力使用の場合(注) <1泊2日の場合も含まれます。>	399円	700円	836円
	宿泊	3泊4日まで(注)	475円	841円	1,009円
		6泊7日まで(注)	551円	983円	1,186円

(注): 人数により保険料が変更となる場合があります。

\* 下記のご契約の場合はご報告の際に、必ず参加者の名簿を一緒に添付してください。

①日帰り活動で20名未満の場合 ②動力を使用される場合 ③宿泊を伴う活動の場合

#### ◆ボランティア保険加入登録者(動力不使用)

池本 順平	北 栄一郎	櫻井 清隆	高田 和彦	長清 幸子	藤江 以住	八十嶋 仁
石森 長博	木原 清	櫻井 茂紀	田中 康典	西田 茂	前川 陽	
大幡 裕	國田 弘子	澤村 真治	内藤 千代	西川 輝	松井 大樹	
大庭 太洋子	小畑 聡子	田井 友泰	中川 邦子	埴崎 滋	村上 哲	

以上25名

#### ◆森林ボランティア保険加入登録者(動力使用)

安田 二三男	大庭 保夫	岡本 明男	織田 伸治
関本 邦晴	中川 博人	西嶋 鍊太郎	前田 健進

以上8名

# 九十九里浜、笠森の里山、千葉の自然を歩こう

## 日本山岳会 全国支部懇談会 in 千葉

第28回全国支部懇談会が10月20日、21日に千葉の九十九里で開かれます。公益社団法人に移行して初めての全国支部懇談会です。山の無い千葉というイメージをもたれている方も多いと思いますが、千葉は東京に隣接して交通の便も良く、のどかな自然も多くあり、海の魚や山の幸など美味しい食べ物が沢山あります。そんな千葉の里山、里海を歩いてみませんか？

日時：2012年10月20日（土）～21日（日）

集合時間：13:00

場所：国民宿舎サンライズ九十九里  
千葉県山武郡九十九里町真亀4908

<http://www.sunrise99.jp/>

TEL 0475-76-4151

FAX 0475-76-4908

定員 300名（宿泊可能人数）

費用 17000円

締切 7月31日まで



サンライズ九十九里は、太平洋に面した九十九里海岸に雄大なカーブを描いて建っています。95ある全ての部屋から太平洋の大海原が一望でき、朝は水平線から真っ赤に昇る朝日でお目覚めできます。

### 笠森観音



笠森観音と呼ばれ親しまれていますが、正式名は「笠森寺」で、784年（延暦3年）

の開基と伝えられています。坂東33観音霊場の第31番札所として知られています。岩山を背に、それぞれ高さの違う61本の柱で支えられた全国でも珍しい「四方懸造」の観音堂があり、国の重要文化財となっています。また、寺の周辺は千葉県笠森鶴舞自然公園に指定されており、自然につつまれた静かな景勝地となっています。

## 九十九里浜

九十九里浜は、千葉県房総半島東岸にある砂と空と海が作り出す雄大な自然です。南は太東崎の一宮町から延々66km、北は刑部岬の銚子市にいたる12市町村にまたがる弓形の海岸線には白い波濤に幾重にも縁どられた岩礁が一つもない砂浜で、日本の白砂青松100選と日本の渚百選に選定されています。



## スケジュール

### 第1日目

- |       |         |  |
|-------|---------|--|
| 12:00 | 受付開始    | 玄関ロビー                                      |
| 14:30 | 講演      | 演題「房総の自然と里山里海」<br>講師 中村 俊彦氏 (千葉県立中央博物館副館長) |
| 16:00 | アトラクション | 九十九里町の郷土芸能披露                               |
| 18:00 | 懇親会     |  |

### 第2日目

- |      |    |
|------|----|
| 6:00 | 起床 |
| 6:30 | 朝食 |

## 九十九里浜散策コース

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 8:00                | 宿出発         |
| 九十九里浜               | 10Km 3時間コース |
| 智恵子抄の碑、片貝漁港にある一等三角点 |             |
| 伊能忠敬生地を見学           | 昼食後         |
| バスにてサンライズ九十九里       |             |
| 14:00               | 解散          |

## 笠森観音 ハイキングコース

- |               |          |             |
|---------------|----------|-------------|
| 7:30          | 宿出発      | バスでユートピア笠森へ |
| 8:30          | ハイキング出発  |             |
| 房総半島の分水嶺      | 5Km 約3時間 |             |
| 11:00         | 笠森観音着    | 昼食後         |
| バスにてサンライズ九十九里 |          |             |
| 14:00         | 解散       |             |

## 交通案内

### ◆お車をご利用の場合

◇東京方面より、京葉道路、湾岸道路 又は東京湾アクアライン、館山自動車道路  
⇒千葉東金道路⇒東金⇒東金九十九里有料道路⇒九十九里 I C ・ 出口前

### ◆バスをご利用の場合

◇JR 東京駅八重洲口 3 番乗り場より「白子中里行（サンライズ九十九里経由）」でサンライズ九十九里下車。(約 90 分 1,800 円)

## 行き

東京駅発 9:35 11:00 14:30

11:00 時発のバスに乗りますと、12:30 に九十九里に到着しますので 11 時のバスに乗って頂く事を薦めます

## 帰り

高速バス サンライズ九十九里 14:16 発-----東京駅 15:45 着  
(交通事情により到着が遅れる事があります)

JR 希望の方は 乗ってきたバスで大網駅まで送ります

大網駅発 特急わかしお東京行 14:49 発-----東京駅 15:35 着  
快速 東京行 15:01 発-----東京駅 16:02 着

## 申込方法

①支部一括の場合は、各支部担当者に連絡し申し込む

②個人の場合は、はがきか F A X、E メールでお申し込みください。

※申し込みには、住所、氏名、会員番号、支部名のほか、参加するコース（九十九里浜、笠森観音ハイキング）交通手段（バス、車）を明示してください。

折り返し、資料と振替用紙を郵送します。

※東京駅から直通バスを利用される場合 バスの座席数もあり増便しますので、必ず往復片道（行き、帰りのみ）と記載してください

## 申込・問い合わせ先

千葉支部全国支部懇談会事務局

豊倉さと子 〒278-0031

野田市中根 29

TEL・F A X 04-7122-9041

メール jg210121-2712@tbp.t-com.ne.jp

# 東京駅⇔サンライズ九十九里間のバスについて

## ☆料金（東京駅⇔サンライズ九十九里）

大人 1,800 円

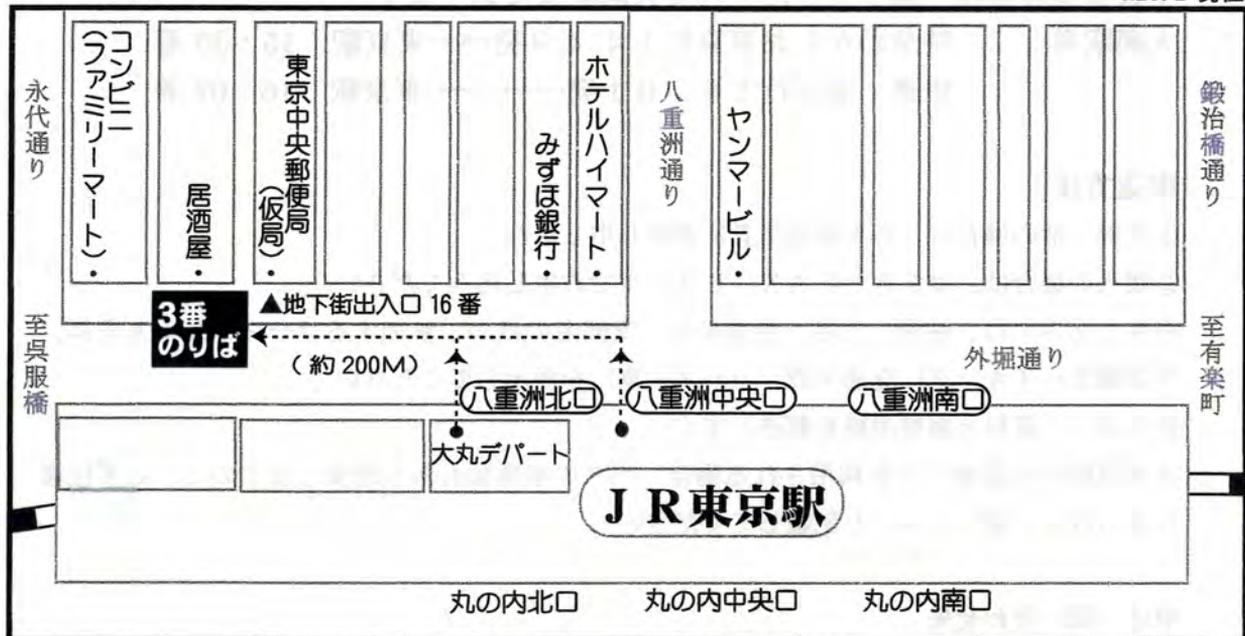
小人 900 円

## ☆高速バス時刻表（所用時間約 90 分）

東京駅発	サンライズ九十九里発
9 : 35	10 : 26
11 : 00	12 : 56
14 : 30	14 : 16

## ☆バス乗り場

H23.2 現在



※トイレのないバスで運行する場合は、途中トイレ休憩のためパーキングエリアで停車する場合があります。

平成24年6月

日本山岳会 本部役員各位 及び支部長各位

公益社団法人 日本山岳会岐阜支部 支部長 早田道治

40周年実行委員長 西條好迪

## 岐阜支部創立40周年記念事業のご案内

此の度は日本山岳会岐阜支部の創立40周年記念事業を下記により計画しております。  
詳細につきましては、再度ご案内を申し上げますが取り敢えず開催要項をご案内いたします。  
多くのご参加を頂きます様ご案内いたします

## 開催要領

▼開催年月日：平成24年11月17日（土）、18日（日）

▼開催場所：17日（土）：式典・講演会・レセプション ホテル「十八楼」

〒500-8009 岐阜市湊町10番 電話 058-265-1551

18日（日）：記念登山「金華山」 標高 328.86 m、二等「金花山」記念山行はホテルの目の前にそびえる山で岐阜市のシンボルとして広く親しまれ、此の度、国史跡指定されました。織田信長天下統一の出発点となった城です。

### スケジュール

11月17日 12:30 JR岐阜駅、十六プラザ前、マイクロバス出迎え

13:30 記念式典  
開会の辞  
物故者紹介・黙祷

13:40 主催者挨拶・来賓祝辞

14:00～15:40 記念講演会 穂刈康治氏（槍ヶ岳山荘オーナー）

15:40～15:50 アトラクション リピート山中氏「山の唄とギター演奏」

18:00 記念写真撮影

18:20 レセプション開会

11月18日 記念山行「金華山」（登山所要時間 約3時間）

11:30 下山完了次第ホテル「十八楼」にて解散し岐阜駅までマイクロなどでお送りします

以上